

穴吹不動産流通(株)鹿児島店**「市況レポート(2023年4月)」****南日本新聞記事より**

一体何が建つのか？注目が集まっていた土地がいよいよ動き出します。

鹿児島市上荒田町の鹿児島市トーフクボウル跡地に、JR九州がマンション建設を計画していることがわかりました。

2015年鹿児島市上荒田町で、惜しまれつつ幕を下ろし解体されたボウリング場、鹿児島市トーフクボウル。あれから7年あまり、ディスカウントストアやカフェ、スーパーなど、様々な出店が噂されては消えてを繰り返した注目の土地でしたが、JR九州がマンション開発を行うことがわかりました。JR九州によると、建てられるのは分譲マンション「MJR」で、敷地面積は約4800平方メートル。地上14階建てとのこと。今年1月ころに着工し、3年後の2026年3月に完成する予定だそうです。

2023年4月日本銀行鹿児島支店 鹿児島県金融経済概況より

【概要】 鹿児島県の景気は、持ち直している。 すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、持ち直している。観光は、着実に持ち直している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。生産は、弱めの動きとなっている。企業部門の動向を短観(3月<鹿児島・宮崎両県集計分>)で見ると、設備投資は、高水準で推移している。こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として緩やかに改善している。

【各論】 1. 個人消費 百貨店・スーパー販売額、家電販売額、乗用車新車登録台数(含む軽自動車)のいずれも、前年を上回って推移している。 2. 観光 主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を上回った。 3. 公共投資 公共工事請負金額は、前年を上回った。 4. 住宅投資 新設住宅着工戸数は、持家を中心に下回った。 5. 生産 鉱工業生産指数(季節調整済)は、食料品、汎用・生産用機械を中心に前月を上回った。 6. 雇用・所得環境 有効求人倍率(季節調整済)は、低下した。現金給与総額は、前年を下回って推移している。常用労働者数は、前年を上回って推移している。 7. 物価 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回って推移している。 8. 金融面 預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、前月並みとなった。企業倒産件数は、前年を上回った。

【まとめ】鹿児島県内におきまして、景気は持ち直されております。弊社グループ会社にてアルファスマート谷山緑地壱番館に続きアルファスマート貳番館も好評分譲中となっております。資料請求やモデルルームへのご案内も可能ですので、弊社までお気軽にお問合せ下さい。